

東北みずの会（石橋良信会長）が

さる。

25日に仙台市内で開催する第2回東北水道フォーラムに向けて、パネリストの勉強会が開かれている。同フォーラムでは、厚生労働省水道課の宮崎正信課長による基調講演に続き、産官学の30代半ばまでの若手9人によるパネルディスカッション「若手から若手へ」が開催

勉強会はこれまで4度にわたり仙台市で開かれ、それぞれが現在の職場または研究室に入ったきっかけの紹介を皮切りに、日常を通じて感じる「次世代に水道界を目指してもらうために何が求められるのか」を若手の視点から議論してきた。2

日に行われた4回目の勉強会では、唯一の学生パネリストである多田早奈恵さん（石橋研究室）が議論の展開に対し積極的なアイディアを出し、他のパネリストが舌を巻く場面もあった。ディスカッションのテーマから当日の視覚的表現まで、すべてがパネリストの手作りとあって、若手からの“みずみずしい”発信が期待される。

### 【第2回東北水道フォーラム】

▽日時：11月25日（金）13時半～17時▽会場：東北学院大学押川記念ホール▽参加費：個人一人1000円、団体一社1万円▽参加申込み：同会HPから申込書を入手の上、送付する。詳細はHPから。

## フォーラムへ準備大詰め

東北みずの会

25日 仙台で開催



当日を模した演習